

プレスリリース

2020年1月16日、ヴェヴェー発



ネスレ、食品包装用の再生プラスチック市場を創出、包装イノベーション促進に向けファンドを立ち上げ

ネスレは本日、バージン(未使用の)プラスチックから食品包装用の再生プラスチックへの移行を進め、革新的で持続可能な包装ソリューションの開発を加速するために、最大20億スイスフランを投資することを発表しました。

2018年に発表した、包装の100%を2025年までにリサイクル可能・リユース可能にするというコミットメントに基づいて、ネスレは、同時期にバージンプラスチックの使用量を3分の1削減するとともに、循環経済の推進と海洋、湖沼、河川のプラスチックごみの清掃に努めます。

食品の品質、安全は最も重要であり、それを確保する上で包装は重要な役割を果たします。多くのプラスチックは食品包装へのリサイクルが難しいことから、食品包装用の再生プラスチックの供給量は限られています。市場を創出するため、ネスレは、最大200万トンの食品包装用の再生プラスチックを調達、今後2025年までに、これらの資材の割増価格の支払いとして15億スイスフラン以上を割り当てることをコミットします。この取り組みの収支の均衡を図るため、ネスレはオペレーションの効率化を追求します。

新素材、詰め替えシステム、そしてリサイクルソリューションなどの包装イノベーションも、廃棄物のない未来を目指す道のりにおいて重要な課題です。ネスレ パッケージング研究所による重要な社内研究に加え、ネスレは、これらの分野に重点的に取り組むスタートアップ企業に投資するため、2億5000万スイスフランの持続可能な包装のベンチャーファンドを立ち上げます。

この2つの取り組みは、包装をリサイクル可能またはリユース可能にするための研究、調達と製造において、現在進行中の主要な取り組みに追加するものであり、2050年までに温室効果ガス排出実質ゼロを達成するという目標に貢献するものです。ネスレの包装に関するコミットメントの一環として、また透明性を高めるため、ネスレは今後もさらなる取り組みについて説明し、定期的に進捗状況の更新情報を提供します。

ネスレ CEO マーク・シュナイダーは、「一切のプラスチックを埋立あるいは廃棄処分してはいけません。食品用に、再生プラスチックを安全にすることは、食品産業にとって大きな課題です。そのため、プラスチック使用量を最小限に抑え、ごみを回収するだけでなく、リサイクルループを完結させ、より多くのプラスチックを無限に再生できるようにしたいと考えます。ネスレは、食品包装用の再生プラスチックの市場拡大と包装業界のイノベーションの強化に積極的に取り組んでいます。ネスレはこの道のりへの他の方々の参加を歓迎します。」

「私たちは、2025 年までに、包装におけるバージンプラスチックの使用量を 3 分の 1 削減するとともに、プラスチックの循環経済の創出に向けて、ネスレが 20 億スイスフランの投資についてコミットすることを喜ばしく思います。必要でないプラスチックをなくし、リユースモデルや新素材などの分野で革新を起こし、そして必要とするプラスチックは循環させることで、-より難しい食品包装用の用途でも-、プラスチックがごみとまらない経済を創出できます。本日発表したコミットメントの達成は、このビジョンの実現に大きく貢献するでしょう」と、エレン・マッカーサー財団 CEO Andrew Morlet 氏は述べました。

【本プレスリリースに関するお問い合わせ先】

報道関係者の皆様	担当: Christoph Meier	電話:+41219242200
投資家の皆様	担当: Luca Borlini	電話:+41219243820